



青空の中での ラン&ウォーク

名和マラソンフェスタ 2017

「名和マラソンフェスタ2017」が、5月21日に名和総合運動公園陸上競技場を発着点として行われました。

さわやかに晴れわたった好天の中、多くの参加者や観客でにぎわいました。

開会式では、ベアの部・ウォーキングの部に出場した松田将さんファミリーを代表して和ちゃん(押平2区)が元気よく選手宣誓を行いました。

招待選手の小原怜さん

(天満屋)もハーフマラソンを完走され、女子のコースレコードを出してフィニッシュ。現役選手の圧巻の走りに大歓声がわきました。

1631名のエントリーがあった今大会。大山町体育協会各専門部員やスポーツ推進委員、コース沿道集落のみならずのほかに、米子松蔭高校野球部員など多くのボランティアスタッフが大会運営を支えました。



▶元気よく選手宣誓

- 大山町内入賞者(敬称略)
 - 【ハーフ男子 35才以下】
 - 5位 林原 寛太
 - 【ハーフ女子】
 - 10位 村山 陽子
 - 【10km女子】
 - 1位 桑本 陽子
 - 【5km男子 中学生以下】
 - 1位 林原 聖真
- ※ハーフ(10位まで)
10km・5km(6位まで)

第1回大山学講座

「川床道」を

歩きました

5月27日、大山道の一つ「川床道」を歩きました。

18名の参加者は、一向平キャンプ場を出発し、大山滝を通り大休峠で昼食をとり、目的地の川床まで約6時間かけて全長9キロの険しい山道を完歩しました。

大山町ガイドボランティアの阿部誠さんの自然解説や文化財室職員の歴史解説を聞きながら、大山詣でにぎわった新緑の川床道を堪能しました。



▲石畳の道で解説を聞く参加者